

## 《猫に対する苦情が多数寄せられています》

# ルールを守り周囲に配慮を

これまでも町広報誌等でお知らせをしておりますが、猫に関する苦情が後を絶ちません。

住宅周辺や庭、畑に「ふんや尿を撒き散らす。穴を掘る。荒らす。せっかく植えた野菜がだめになった」などという苦情です。

その原因は「飼い主が、夜になると戸を開けて猫を外に出している。」「野良猫にエサを与えている人がいる」というもので、猫が自由にできる状況や集まりやすい状況を作っているのは、飼い主や野良猫にエサを与えている人にも責任があるとしています。

動物愛護の観点から「動物をかわいがる」ことは大変結構なことと思いますが、その反面、野菜づくりなどを楽しみにしている方も、周辺には沢山いらっしゃることを十分認識していただきたいものです。

地域の方々に迷惑をかけないように猫との係わりについて、今一度責任ある行動をお願いするとともに、次のことを心がけてください。

### 《飼い主の方へ》

- ・猫は、原則室内で飼いましょう。
- ・運動不足解消には、自分の敷地内で離す、リードを付けて散歩させるなど適切な措置をしましょう。
- ・繁殖を望まない場合には、動物病院等での去勢手術、不妊手術の措置をしましょう。

### 《エサを与える方へ》

野良猫が可哀想だからと言って「エサをやる」ことは、結果として猫が集まりやすい状況を作り、周辺の方々に迷惑をかける結果となっています。

エサを与えるのであれば、責任を持って飼い猫とするなどの措置をしましょう。そうでない場合は、エサを無責任に与えないようにしましょう。



猫は原則室内で飼育。外出時はリードを付けましょう

